

Unit3-1 Our School Trip

教科書 p.24~25

目標：「(今までに) ~したことがあります・ありますか」と言えるようになる。

▶ 現在完了形③ (経験)

<肯定文> **I've visited Italy before.**

[私は以前、イタリアを訪れたことがあります。]

<疑問文> **Have you ever visited Italy?**

[あなたは今までに、イタリアを訪れたことがありますか。]

<答え方> **Yes, I have.** / **No, I haven't.**

[はい、あります。] / [いいえ、一度もありません。]

~これまでの回数を尋ねる場合~

How many times have you visited Italy?

[あなたは今までに何回、イタリアを訪れたことがありますか。]

<答え方> **(I've visited there) Twice.**

[2回あります。]

- ・「(今までに) ~したことがある」も (**have + 動詞の** 形)。
- ・これを、【 **形の 用法** 】という。
- ・疑問文は、**Have you ~ ?** に **ever = ()** を加えた形で表す。
- ・質問への返事は **Yes, I have. / No, I haven't. (No, never.)** で答える。
- ・「回数」を尋ねる場合は **How many times** を文頭に置く。※**ever** は不要。

~「回数」を表す表現~

- **once** = 1回
- **twice** = 2回
- **~ times** = 3回以上
- **several times** = 数回
- **many times** = 何回も

Unit3-2 Our School Trip

教科書 p.26~27

目標：「(一度も) ~したことはありません」と言えるようになる。

▶ 現在完了形③ (経験)

<肯定文> **I've been to Italy before.**

[私は以前、イタリアに行ったことがあります。]

<否定文> **I've never been to Italy.**

[私は一度も、イタリアに行ったことがありません。]

・「(一度も) ~したことがない」は **have never ~** で表す。

~現在完了形 (経験) における **been** の扱い~

- **have been (to)** = 「~に行ったことがある」という意味で使われる。
- **have visited** はほぼ同じ意味と考えて良い。
- 「行く」と言うと **go** が思い浮かぶが、意味も用法も変わってしまう。
- **have gone** = 「~に行ってしまった (今はいない)」 ×経験 ○完了

~現在完了形のおさらい (ノートに英文で作文、どの用法か○付ける) ~

- ①私は何回か、テニスをしたことがあります。 継・完・経
- ②私は10才の頃から、ずっと英語を勉強しています。 継・完・経
- ③私の父は一度も、海外に行ったことはありません。 継・完・経
- ④私たちはすでに、誕生日ケーキを作っています。 継・完・経
- ⑤彼はどのくらい、そのペンを使っているのですか。 継・完・経
- ⑥あなたはもう、その知らせを耳にしましたか。 継・完・経

Unit3-3 Our School Trip

目標：「～が…するのは～です」と言えるようになる。

▶ 形式主語 it

<肯定文> **It is important to learn English.**

[英語を学ぶことは、重要です。]

～意味上の主語 for が入るパターン～

<肯定文> **It's easy for me to swim 100m.**

[私が100m泳ぐことは簡単なことです。]

・「～が…するのは～です」は **It's - for ~ to ...** で表す。

～形式主語 it 構文の仕組み～

①「英語を学ぶことは、重要です」をそのまま組み立てると、

To learn English is important. となるが、主語が長くなってしまふ。

②仮の主語として **it** (形式主語) を置き、**It is important.** とする。

※あくまで仮の存在なので、**it** = 「それ」とは訳さない。

③しかし、これでは何が重要と言いたいのか分からないため、

to learn English (真の主語) を後ろに持ってきて完成とする。

【完成】 **It is important to learn English.**

仮主語

真主語